

教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の調査・研究の観点等について

- 1 国 語
- 2 書 写
- 3 社 会（地理的分野）
- 4 社 会（歴史的分野）
- 5 社 会（公民的分野）
- 6 地 図
- 7 数 学
- 8 理 科
- 9 音 楽（一般）
- 10 音 楽（器楽合奏）
- 11 美 術
- 12 保 健 体 育
- 13 技術・家庭（技術分野）
- 14 技術・家庭（家庭分野）
- 15 英 語
- 16 道 徳

令和6年8月9日（金）

教科用図書調査・研究の観点等について【国語】

国語科の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能 の習得	① 言葉の特徴や使い方に関する事項 ② 情報の扱い方に関する事項 ③ 我が国の言語文化に関する事項	○ 新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い ○ 情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等 ○ 伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数
思考力、判断 力、表現力等 の育成	④ 自分の考えを形成する活動の工夫 ⑤ 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連	○ 話合いに関する単元の内容の扱い ○ 文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数
主体的に学習 に取り組む工 夫	⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑦ 見通しを立てて学習するための構成上の工夫 ⑧ 学習を振り返るための工夫	○ 実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動 ○ 単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等 ○ 学習の振り返りの示し方及び具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑨ 単元の構成 ⑩ 単元・教材等の配列	○ 単元内の教材等の配列及び具体例 ○ 配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数
内容の表現・ 表記	⑪ 巻末資料の示し方 ⑫ デジタルコンテンツの活用	○ 巻末資料の示し方、内容及びページ数 ○ デジタルコンテンツの数と扱い

教科用図書の調査・研究の観点等について【書写】

国語科の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 ② 文字の書き方の示し方	○ 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数 ○ 筆使い及び紙面構成等の示し方
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫	○ 目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例
主体的に学習に取り組む工夫	④ 他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫 ⑤ 学習の見通しを立てるための構成上の工夫 ⑥ 自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫	○ 教科の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数 ○ 学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴 ○ 学習の目標及び振り返りの示し方
内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・教材等の配列・分量 ⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	○ 総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数 ○ 伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い
内容の表現・表記	⑨ デジタルコンテンツの活用	○ デジタルコンテンツの数・内容及び扱い

社会科の 目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方 ② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	○ 1時間ごとの学習問題の記載の仕方及び記載例 ○ 「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容 ○ 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 ○ 「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる工夫
思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫 ⑤ 学習のまとめの工夫	○ 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例 ○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫 ⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	○ 各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例 ○ 「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例
内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量 ⑨ 防災教育の充実	○ 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数 ○ 「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用 ⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数 ○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト

社会科の 目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方 ② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例 ○ 文化遺産の示し方及び神話・伝承等に関する記載内容 ○ 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数及び内容
思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫 ⑤ 学習のまとめの工夫	○ 特設ページ等を活用して思考させるための記載例 ○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための記載例
主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫 ⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	○ 各単元の導入における学習の見通しをもたせるための工夫の具体例 ○ 「身近な地域の歴史」で示している記載の仕方及び調べる手順・方法
内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量 ⑨ 主権者育成のための工夫	○ 各時代区分別のページ数 ○ 古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりについての記載内容
内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用 ⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数 ○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

社会科の 目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能 の習得	① 学習課題の示し方 ② 公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	○ 1時間ごとの学習問題の記載の仕方及び記載例 ○ 現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例 ○ 国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫 ⑤ 学習のまとめの工夫	○ 「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例 ○ 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫 ⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	○ 各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例 ○ 持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手段
内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量 ⑨ 社会参画への意識を高める工夫	○ 各大項目のページ数 ○ 「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例
内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用 ⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	○ 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数 ○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト

教科用図書の調査・研究の観点等について【地図】

社会科の 目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------------	---

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 地図の活用を促す工夫 ② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○ 地図の見方の記載と内容及び地図を活用した調べ方の事例 ○ 国土の地理的環境及び歴史的事象が記載された地図の例
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 思考力、判断力、表現力等を育む工夫 ④ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容 ○ 地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	○ 課題を追究するための資料の扱い
内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列 ⑦ 防災教育の充実	○ 内容の構成、配列及びページ数 ○ 地図を活用した記載の具体例
内容の表現・表記	⑧ 学習内容との関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○ 地図の種類と縮尺及び資料等（二次元コードを含む）の活用方法の示し方

教科用図書の調査・研究の観点等について【数学】

数学科の 目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 知識及び技能の習得を図るための工夫 ② 概念的な理解を促す工夫	○ 学習内容の定着や既習事項の確認に関する扱い及び練習問題数 ○ 基礎的な概念を身に付ける活動の具体例及び展開
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ④ 問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫	○ 説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例 ○ 問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開例
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫 ⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑦ 問題解決的な学習に対する振り返りの工夫	○ 日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例及び題材数 ○ 問題の具体例及び問題数 ○ 問題解決的な学習で働かせた数学的な見方・考え方等の振り返りの取扱い
内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列 ⑨ 発展的な学習に関する内容の記述	○ 各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例 ○ 発展的な問題の数及び具体例
内容の表現・表記	⑩ イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用	○ イラスト・写真の数と具体例及びデジタルコンテンツの数と扱い

教科用図書の調査・研究の観点等について【理科】

理科の 目標	自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
-----------	---

観点	視点	方法
知識及び技能 の習得	① 知識や概念の定着を図り，理解を深めるための工夫 ② 観察，実験の技能を習得させるための工夫	○ 既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定 ○ 観察，実験の数，内容及び具体例
思考力，判断 力，表現力等 の育成	③ 単元の導入において，課題を設定するための工夫 ④ 観察，実験を計画する学習活動，結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ⑤ 科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫	○ 単元の導入における取扱い内容，ページ数及び単元の第1章・実験における問いの設定までの流れ ○ 観察，実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方と具体例 ○ 話合いや説明の学習活動の示し方及び話合い活動を促すセリフの具体例
主体的に学習 に取り組む工 夫	⑥ 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ⑦ 科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫	○ 学習内容と日常生活や社会，職業との関連を図った読み物等の取扱い箇所及び具体例 ○ 探究の過程の示し方及び具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑧ 単元の配列の工夫 ⑨ 補充的な観察，実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫	○ 単元の配列及び総ページ数 ○ ものづくりの数，補充的な観察，実験の数及び発展的な学習の取扱い数
内容の表現・ 表記	⑩ 写真，資料及びデジタルコンテンツ等の取扱い	○ 巻頭・巻末における写真，資料，デジタルコンテンツ等の内容及びページ数

教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（一般）】

音楽科の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
--------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫 ② 鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫 ③ 題材の学習目標等の示し方	○ 歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例 ○ 鑑賞領域における知識に関する記載 ○ 学習目標等の表記の仕方の具体例
思考力、判断力、表現力等の育成	④ 音楽表現を創意工夫させるための工夫 ⑤ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	○ 創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例 ○ 鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載
主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 興味・関心を高めるための工夫 ⑦ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫	○ 資料や巻頭の内容 ○ 音楽文化に関する学習についての記載
内容の構成・配列・分量	⑧ 我が国の音楽に関する内容の扱い ⑨ 教材の配列及び分量	○ 学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む） ○ 教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
内容の表現・表記	⑩ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用 ⑪ 特別支援教育へ配慮した構成及びデザイン	○ 楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの具体例 ○ ユニバーサルデザインに配慮した示し方

教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（器楽合奏）】

音楽科の 目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
------------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫 ② 題材の学習目標等の示し方	○ リコーダーにおける知識及び技能に関する記載 ○ 学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	○ 音楽表現を創意工夫する学習の記載内容
主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫 ⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫	○ 資料及び巻頭の内容 ○ 音楽文化に関する記載
内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い ⑦ 教材の分量及び構成	○ 和楽器に関する教材の扱い ○ 楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数及び内容の構成
内容の表現・表記	⑧ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用	○ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

教科用図書の調査・研究の観点等について【美術】

美術科の 目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
------------	---

観点	視点	方法
知識及び技能 の習得	① 〔共通事項〕の指導を 充実させるための工夫 ② 形や色彩、材料や用具 の取扱い等の定着を図 るための工夫	○ 造形的な視点の示し方及び具体例 ○ 形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載 及び具体例
思考力、判断 力、表現力等 の育成	③ 表現と鑑賞の関連を 図った学習活動の工夫 ④ 表現及び鑑賞の活動 における言語活動の工 夫	○ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及 び具体例 ○ 発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示 し方及び具体例
主体的に学習 に取り組む工 夫	⑤ 興味・関心を高めるた めの工夫 ⑥ 生活や社会の中の美 術や美術文化と豊かに 関わるための工夫	○ 表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工 夫及び具体例 ○ 生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑦ 題材の配列	○ 題材数及び構成・配列
内容の表現・ 表記	⑧ 作品等についての示 し方の工夫 ⑨ デジタルコンテンツ の活用	○ 作品等や造形活動の示し方及び具体例 ○ デジタルコンテンツの扱い及び具体例

教科用図書調査・研究の観点等について【保健体育】

保健体育科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指すし、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
----------	---

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 単元の学習内容の示し方 ② 知識及び技能の習得を図る工夫	○ 単元の学習内容の示し方及び具体例 ○ 基本的な知識及び技能を習得するための工夫及び具体例
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫 ④ 自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫	○ 思考を促すための発問や活動の設定及び具体例 ○ 自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動や課題の設定及び具体例
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定 ⑥ 興味・関心を高めるための工夫	○ 学習の流れ及び具体例 ○ 単元内に掲載している資料の数及び具体例
内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列 ⑧ 発展的な学習に関する内容の工夫	○ 各単元における項目の構成 ○ 発展的な学習の扱い、記載数及び記載単元
内容の表現・表記	⑨ 学習内容に関するマーク等の活用 ⑩ デジタルコンテンツの活用	○ マーク等が示す内容 ○ 技能の習得につながるデジタルコンテンツ（動画）の設定及び具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【技術・家庭（技術分野）】

技術・家庭科 (技術分野) の目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具現化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
-------------------------	---

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫 ② 技術の概念の理解を促すための工夫	○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る記述 ○ 技術の概念の理解を促す記述
思考力，判断力，表現力等の育成	③ 技術の見方・考え方を働かせるための工夫 ④ 技術による問題の解決を行うための工夫	○ 技術の見方・考え方に気付かせ，働かせるための示し方 ○ 技術に関わる問題を見だし，課題解決及び実践の評価改善を行う学習過程の示し方
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 目標の示し方 ⑥ 社会の発展と技術について考えさせるための工夫	○ 各内容における学習項目の目標の示し方及び具体例 ○ 主体的に技術に関わり，技術を工夫し創造しようとする記述
内容の構成・配列・分量	⑦ 題材や資料等の配列 ⑧ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○ 題材及び学習内容の配列及び分量 ○ 実践的・体験的な学習の具体例
内容の表現・表記	⑨ 各教科等と関連させて学習を進める工夫 ⑩ デジタルコンテンツの活用	○ 各教科等と関連する内容の示し方及び具体例 ○ デジタルコンテンツの種類及び具体例

教科用図書調査・研究の観点等について【技術・家庭（家庭分野）】

技術・家庭科 (家庭分野) の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
-------------------------	---

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫 ② 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための記述及び具体例 ○ 実践的・体験的な学習の具体例
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 生活の中から課題を見いだすための工夫 ④ 課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫	○ 学習過程の示し方及び具体例 ○ 「生活の課題と実践」の示し方及び実践例
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫 ⑥ 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫	○ 学習のまとめの示し方及び具体例 ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例
内容の構成・配列・分量	⑦ 発展的な学習の扱い方 ⑧ 他教科等と関連させて学習を進めるための工夫	○ 発展的な学習の扱い及び具体例 ○ 他教科等と関連する内容の示し方及び具体例
内容の表現・表記	⑨ 特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫 ⑩ デジタルコンテンツの活用	○ ユニバーサルデザインに配慮した示し方 ○ デジタルコンテンツの活用及び具体例

教科用図書調査・研究の観点等について【英語】

外国語科の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
---------	--

観点	視点	方法
知識及び技能の習得	① 単元の目標の示し方 ② 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	○ 目標の示し方及び具体例 ○ 文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
思考力、判断力、表現力等の育成	③ 単元における言語活動の工夫 ④ 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	○ 単元や題材など内容や時間のまとまりにおける言語活動の設定及び単元終末の言語活動の具体例 ○ 複数の領域を関連付けた統合的な言語活動及び展開の具体例
主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 単元に対する興味・関心を高めるための工夫 ⑥ 単元等における振り返りの工夫	○ 単元の導入の工夫 ○ 単元や題材など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
内容の構成・配列・分量	⑦ 単元の構成・配列の工夫 ⑧ 小学校外国語科との接続を図った構成・配列	○ 総ページ数、総単元数及び領域別言語活動数 ○ 小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列及び具体例
内容の表現・表記	⑨ 巻末資料、付録等の工夫 ⑩ 学習到達目標の設定	○ 巻末資料、付録及びデジタルコンテンツの内容 ○ 学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定及び具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【道徳】

特別の教科 道徳の目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
----------------	---

観点	視点	方法
知識及び技能 の習得	① 道徳科の学び方等の 示し方 ② 発問の示し方	○ オリエンテーションのタイトル、示し方及び 記載例 ○ 学年、数、記載箇所及び発問
思考力、判断 力、表現力等 の育成	③ 考えを伝え合う活動 の工夫 ④ 考えをまとめたり、振 り返ったりする活動の 工夫	○ 話し合いを促す示し方及び具体例 ○ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の 示し方、記入欄の数等及び具体例
主体的に学習 に取り組む工 夫	⑤ 問題解決的な学習を 取り入れた工夫 ⑥ 体験的な学習を取り 入れた工夫	○ 問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目 及び学習過程 ○ 体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び 学習過程
内容の構成・ 配列・分量	⑦ 分量や教材の数 ⑧ 現代的な課題等を踏 まえた内容の示し方	○ 判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数 ○ いじめ問題の扱い及び教材等の例
内容の表現・ 表記	⑨ 巻頭等、巻末等の取扱 いの工夫 ⑩ 教材の内容を理解さ せる工夫	○ 巻頭等、巻末等の示し方 ○ マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等 の示し方及び活用の具体例